

2021年9月24日

令和3年度9月 学位記授与式学長告辞

九州工業大学長 尾家祐二

本日、ここに令和3年度の学位記授与式を挙行できますことは、本学にとりまして大きな喜びであります。栄えある門出を迎えられました皆さんに、まずもってお祝い申し上げます。また、この日まで修了生を物心両面から支えてこられました保護者、御家族の皆様のお喜びはひとしおと拝察し、衷心よりお祝い申し上げます。

この度は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大によって、私達の様々な社会活動が大きな影響を受けました。この1年以上もの間、皆さんが研究活動を行う中で、教員や仲間と直接会って十分な議論をすることもできず、実験等を行う際にも、感染防止に配慮しなければならないなど、大変な苦勞をされたと思います。そのような中において、様々な困難を克服して、今日の学位記授与式を迎えられました皆さんに、深く敬意を表します。

さて、専門的な知識とスキルを身に付けた皆さんは、これから実社会において様々な課題に直面することになると思います。複雑で入り組んだ課題を解決するためには、課題をよく吟味し、多角的に捉えるなど、最初に課題をどのように認識するかが重要になります。ある特定の専門分野だけを掘り下げた延長に良い解があるとは限りません。しかし、一人で多様な専門知識・認識を身に付けることは容易ではありません。したがって、課題を多角的に捉えるためには多様な認識能力を備えた人たちからなるチームが大切になります。例えば、暗号解読に関するある国家プロジェクトチームには、数学者等の研究者だけでなく、クロスワードパズルの達人も入っていたそうです。多様な認識能力の重要性を考慮したチーム構成が行われました[1]。

皆さんも、自身の専門とは異なる多様で幅広い分野で活躍する人達との交流を楽しみながら広げていってください。きっと、皆さんが新たな視点を身に付ける機会を得ることができることでしょう。

残念ながら、現在はまだ、新型コロナウイルス終息の目処は付いていません。しかしながら、このような中だからこそ、学べることは多くあるはずです。健康

の大切さ、人の命の尊さ、分断ではなく協力し合うこと大切さなど改めて考えてみましょう。ウイルスの影響は甚大です。しかし、意志を持って、選択し、実行するのは私達人間です。そして、皆さんは未来社会を築く主役です。不透明で、変化に富んだ社会では、ひとびとの不安や不満が増し、社会全体が緊張することもあります。そのような時には、自分自身及びチームの緊張を和らげ、柔軟な思考をするように心がけてください。さらには、十分に考え、誠実に選択し、実行したことが最適でない場合もあると思います。その選択の限界が見えた場合は、謙虚に修正するなど、対応していくことにより、次の可能性が見えてくると思います[2]。

最後になりますが、皆さんが、九州工業大学における多くの良き出会いを財産として、今後人生を楽しみ、活躍されますことを祈念し、皆さんの栄えある門出を心から祝福申し上げ、告辞と致します。本日は、誠におめでとうございます。

参考：

[1] マシュー・サイド著「多様性の科学 画一的で凋落する組織、複数の視点で問題を解決する組織」ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2021.

[2] シーナ・アイエンガー著「選択の科学」文藝春秋、2010.